ゴーヘッズ 速報

Goaheads

第33号　平成23年11月3日

また、初心に振り出しに！！　8進出ならず！

	1	2	3	4	5	6	7	R
Y	3	2	0	1	0			6
G	0	0	0	0	0			0

投打のバランス総崩れ！

11/3（祝木）大黒埠頭公園野球場で、BEST８入りを賭けて、横浜ヤンキースと戦った。悲願の８入りで、開始前は、意気揚々としていたが、ゲームは相手に敗戦した事実よりも、自分達が何がやりたかったのか、全く分からない結末で、区民大会はまた来年となった。今日のゲームを振り返ってみると、投手の崩れ、貧打、失策だろう。相手安打数が４に対し３、しかし、打線が全く繋がらず。与四死球に関しては、相手０に対し６、失策に関して、相手０に対し３と、非常に自滅感の強い内容であった。その中でも2回ほどチャンスが。2回の攻撃、先頭は倒れるも、続く祐太朗・浅沼が連続中前安打で出塁、後続は投ゴロで２塁走者はアウトになるも、二死１・3塁と得点チャンス、しかし、この絶好の得点チャンスに１塁走者が、偽投に掛かり、あっさり得点シーンを逸してしまった。4回には、先頭の哲也が振り切った事が功を奏し、一二塁間を抜く安打で出塁、後続の三塁ゴロの間に２塁へ。しかし、ここは後続が倒れ、得点は出来なかった。
区民大会は、時間制の大会である。よって、前半勝負は誰しも感じているところ、しかし、投手交代の見極めの悪さが、大量失点に繋がり、その焦りから相手投手の術中に嵌り、貧打が強調された。何とか塁に出ようとするも、相手投手を崩す事も出来ず、四球の選択も出来ない、コーナーワークの良さから手も出ない。悪いときには、悪い事が重なるもので、今期一の悔しい内容になってしまった。そんな中で、４回からマウンドに上がった林は、無死満塁の場面から1点も与えなかったピッチングはさすがである。中犠飛からの返球も惜しかった・・・
しかし、今日は、底に落ちた感じだろう。でも底に落ちたという事は、そこから這い上がれば良い、今日の教訓を今後に生かし、また、ゲーム後に個々が口にした事を意識しながら、考える野球をチームで行い、勝利を目指して頑張ろう！